

2014(平成26)年度資金収支予算概要

資金収支計算書

2014年度における法人の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の動きを明らかにした計算書類。企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当

収入の部		(単位:千円)		
年度	2014年度	2013年度	比較増減	
科目				
学生生徒等納付金収入	638,400	628,400	10,000	1年250名(定員) 2年270名 専攻科 20名(定員)
手数料収入	8,490	8,590	△ 100	検定料 児童福祉学科 250名 専攻科 20名
寄付金収入	500	500	0	教育環境充実資金(募金)
補助金収入	49,362	50,178	△ 816	経常費補助金 40,000 大学改革推進 9,262 相模原市(結核) 100
国庫補助金収入	49,262	50,073	△ 811	
地方公共団体収入	100	105	△ 5	
資産運用収入	11,750	23,539	△ 11,789	受取利息・設備利用料
資産売却収入	0	120,000	△ 120,000	
事業収入	2,180	2,336	△ 156	講習会収入 1,840 受託事業収入 340
雑収入	410	19,206	△ 18,796	
前受金収入	213,450	211,675	1,775	預り金、奨学貸付金回収 減価償却引当特定資産預け替え 前期末未収入金
その他の収入	424,537	296,059	128,478	
資金収入調整勘定	△ 213,350	△ 231,081	17,731	前期末前受金(2013年度1年生前期学納金)
資金収入合計	1,135,729	1,129,402	6,327	2013年度末現金預金
前年度繰越支払資金	1,863,486	1,836,612	26,874	
収入の部合計	2,999,215	2,966,014	33,201	
支出の部				
人件費支出	382,599	411,290	△ 28,691	教職員人件費
教育研究経費支出	154,602	137,287	17,315	研究費、教材費、実験実習費他
管理経費支出	103,023	111,562	△ 8,539	法人事務費、広報宣伝費他
施設関係支出	123,620	27,746	95,874	土地 第2号基本金組入計画 建物 1号館トイレ改修工事
土地	100,000	0	100,000	
建物	23,620	27,746	△ 4,126	
設備関係支出	7,638	29,028	△ 21,390	教室設置プロジェクト他
教育研究用機器備品	5,140	25,661	△ 20,521	
その他の機器備品	1,258	1,927	△ 669	食堂厨房冷凍庫他
図書	1,240	1,440	△ 200	
資産運用支出	301,834	298,645	3,189	第3号基本金引当特定資産への繰入
土地取得引当特定資産	0	30,000	△ 30,000	
第3号基本金特定資産	466	356	110	
定期預金への繰入支出	299,300	266,000	33,300	減価償却引当特定資産、 退職給与引当特定資産から預け替え
積立保険金	2,068	2,289	△ 221	
その他の支出	11,997	46,562	△ 34,565	和泉奨学金(貸与) 6名
奨学貸付金	3,150	3,150	0	
前期末未払金	3,260	36,983	△ 33,723	退職金財団掛金2,3月分
前期末預り金	5,587	6,429	△ 842	
予備費	30,000	30,000	0	私学共済掛金他
資金支出調整勘定	△ 3,150	△ 3,260	110	2014年度退職金財団掛金 2,3月分(期末未払金)
資金支出合計	1,112,163	1,088,860	23,303	2014年度末 現金預金
次年度繰越支払資金	1,887,052	1,877,154	9,898	
資金収支差額	23,566	40,542	△ 16,976	

※ 短期大学

1年 @1,340 * 250名 (定員)
2年 @1,050 * 270名 前年度比(10名増)
計 2,390

専攻科

1年@1,020 * 20名 (定員)
計 1,020

2014(平成26)年度消費収支予算概要

消費収支計算書

2014年度における法人の収支均衡状況を明らかにし、法人が健全であるかを示す計算書類
 企業会計の「損益計算書」に相当

消費収入の部

(単位:千円)

科 目	2014年度	2013年度	比較増減
	(89.8%)	(85.8%)	
学生生徒等納付金	638,400	628,400	10,000
	(1.2%)	(1.2%)	
手数料	8,490	8,590	△ 100
	(0.1%)	(0.1%)	
寄付金収入	500	500	0
	(6.9%)	(6.8%)	
補助金	49,362	50,178	△ 816
国庫補助金収入	49,262	50,073	△ 811
地方公共団体収入	100	105	△ 5
	(1.7%)	(3.2%)	
資産運用収入	11,750	23,539	△ 11,789
	(0.3%)	(0.3%)	
事業収入	2,180	2,336	△ 156
	(0.1%)	(2.6%)	
雑収入	410	19,206	△ 18,796
	(100%)	(100%)	
帰属収入合計	711,092	732,749	△ 21,657
基本金組入額合計	△ 18,278	△ 30,356	12,078
消費収入の部合計	692,814	702,393	△ 9,579
消費支出の部			
人件費比率	(53.4%)	(55.3%)	
人件費	379,824	405,055	△ 25,231
専任教員給	205,454	203,941	1,513
兼任教員給	18,886	20,984	△ 2,098
専任職員給	137,364	142,817	△ 5,453
兼任職員給	16,895	17,439	△ 544
役員報酬	4,000	4,000	0
退職給与引当繰入額	△ 2,775	14,410	△ 17,185
退職金	0	1,464	△ 1,464
教育研究経費比率	(30.3%)	(26.6%)	
教育研究経費	215,259	195,259	20,000
(減価償却額)	60,657	60,990	(△ 333)
管理経費比率	(15.4%)	(16.1%)	
管理経費	109,591	117,964	△ 8,373
(減価償却額)	6,568	6,402	(166)
(広報宣伝費)	24,872	24,744	(128)
資産処分差額	2,941	118,396	△ 115,455
予備費	30,000	28,815	1,185
消費支出の部合計	737,615	865,489	△ 127,874
当年度消費支出超過額	44,801	163,096	△ 118,295
前年度消費収入超過額	2,648,616	2,179,199	469,417
基本金組取崩額	0	503,673	△ 503,673
翌年度消費収入超過額	2,603,815	2,519,776	84,039
帰属収支差額	△ 26,523	△ 132,740	106,217
帰属収支差額比率	-3.7%	-18.1%	

学校法人の負債とならない収入

第1号基本金(建物、備品、図書)
第3号基本金(奨学金基金果実)

専任17名、特任2名
専攻科 3名

児童福祉学科35名
専攻科 3名

専任14名、法人1名
契約 2名

契約職員、看護師、カウンセラー
学生アルバイト他

1号館トイレ改修工事による
建物除却帳簿残高他

基本金組入額内訳

18,278

第1号基本金組み入れ額 117,812
 第2号基本金から第1号への振替 △ 100,000
 第3号基本金組み入れ額 466

2014年度予算書概要説明

安定した財政状態の回復

学校法人会計基準に基づく予算には、資金収支予算書と消費収支予算書とがあります。**資金収支予算書**の資金収入の部合計は、1,135,729千円で、資金支出の合計1,112,163千円です。収入においては、預金利率低下等により前年度に比べ資金収支差額は、約17,000千円減少になり、2014年度末繰越支払資金（現金預金）も同額減少する見込みです。

消費収支計算書の帰属収入合計は、711,092千円です。基本金組み入れは、第1号基本金として17,812千円組み入れを行います。第2号基本金組み入れ計画は2013年度で終了致しました。第3号基本金は、基金による運用果実（利息）から奨学事業経費を控除した残額466千円の組み入れを行い、第1号、第3号基本金組み入れ合計額は、18,278千円になります。

帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入の部合計は、692,814千円です。これに対して消費支出の部合計は737,615千円であるため、2014年度の消費収支差額は、44,801千円の消費支出超過になり、また帰属収支差額は26,523千円の支出超過になる見込みです。

○ 今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少、4年制大学等の保育士養成校の増加等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2014年度は私立大学の約46%（265校）、短期大学の65%（207校）が入学定員割れの状態になり、非常に厳しい状況にあります。

本学は、帰属収入の約90%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、退学者の防止をしていかなければなりません。また、外部資金等の導入による経営戦略としては、文部科学省の競争的資源配分の獲得に向けて本学独自の教育と学生支援の質の向上を図るため、2014年度も新たな文部科学省「大学教育再生加速プログラム」にチャレンジ致します。

2013年度は5号館の売却により、帰属収支差額は単年度のみ悪化しましたが、法人の財政に及ぼす影響はありません。今後も教育研究活動の維持向上と全般的な支出の削減とのバランスを保ちながら、一層の財政基盤の強化を図ってまいります。

2014年度は、1号館トイレ改修工事、1号館、2号館屋上防水塗装工事等を行います。

深町正信理事長による2014年度「学校法人和泉短期大学の基本構想」により、次の4つ柱のもと事業展開をして参ります。1. キャンパスの集約、周辺土地の取得 2. 居心地の良いキャンパス、3. 1.2号館屋上防水塗装工事、4. 消費増税を織り込んだ予算編成。2014年度は、ソフト面に力を入れ、ガバナンスとコンプライアンスを重視していく。

大学を取り巻く環境は、年々厳しさを増している状況下においても、本学の環境整備充実のために将来にわたり支出要因は多いため、2014年度も募金活動を行う共に、さらなる発展を目指して、今後も「出るを制し、入るを計る」ために業務改善に取り組み、一層の合理的・効率的な支出を行い、資金の有効活用に努めます。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人間形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」により学生を大切にし、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となって努力して参ります。

事務局長 土橋正文